

○中学校

赤磐市立 吉井中学校	プログラミングの授業を見て、昔はこのような活動がなかったので、技術科に対する価値観が変わった。課題解決学習にも好感がもてる。
真庭市立 湯原中学校	端末を「文房具のように活用する」ことに驚いた。資料や課題配布に用いられたclassroom、振り返りやアンケート調査で用いられたformsなどの活用による時間短縮や利便性に関心をもった。
美作市立 作東中学校	1人1台端末を取り入れると、分かりやすくなる教科や場面がある。
和気町立 和気中学校	音楽科で親子で作曲を楽しむ時間をあり、タブレット端末の有効な活用場となって良かった。
早島町立 早島中学校	タブレット端末を使った授業を見学するのは面白く、自分も授業を受けてみたい。
新庄村立 新庄中学校	最近はiPadを活用した授業になり、生徒はスムーズに使うことができている。
久米南町立 久米南中学校	分からないところを先生に聞くこと以外にも、タブレットで調べる、デジタル教科書ですぐに確認できるなどの手段があって羨ましい。

○公開授業以外の内容

井原市立 野上小学校	家に持ち帰ったときは、天気の移り変わりについて自分で毎日調べていた。進んで学習に取り組めていたと思う。
浅口市立 金光小学校	家庭学習として課題を出した際に、児童の取り組み状況について、保護者にFormsを使ったアンケートを行うと、肯定的な回答が多かった。
倉敷市立 水島中学校	Google サイトを活用した課題の解説動画は生徒に好評である。
備前市立 吉永中学校	今後の課題として、家でもタイピングを練習させたい。

小・中学校ともに、概ね肯定的な声が寄せられましたが、一部、心配や不安の声もありました。

- ・小学校1年生の段階では、実際に体験したり、人との直接的に触れ合ったりする活動を重視してほしい。
- ・コミュニケーション不足にもなりかねないのではないか。
- ・タブレット端末を置くと机の上が狭くなり、使いにくさや落下が気になった。
- ・情報モラルの面が心配である。
- ・意見を書き込むとき、好ましくない言葉を使って打ち込む児童がいたのが気になった。
- ・家庭に持ち帰ったときに、どのように使っていくかなどについて、心配なことが出てきそう。
- ・端末使用時の姿勢の崩れや視力の低下が心配だ。

さらに活用が進むと新たな課題も出てくると考えられますが、保護者や地域に端末活用の実際を公開することで、ICTを活用した学び方についての理解や協力が得られると思われまます。

端末導入時期には、各校から健康面の配慮事項等を保護者へ連絡しましたが、年度替わりのタイミング等で改めて確認することが大切です。

また、既に端末の持ち帰りを実施している学校もありますが、令和4年度に持ち帰りがスタートする学校もあります。持ち帰った際の使い方等については、保護者の協力を得るために十分な情報提供が大切です。

